

# 令和3年度第2回えなの森林づくり推進委員会全体会議 会議録

日 時：令和4年1月25日（火）  
午後1時30分から  
場 所：恵那市役所会議棟 大会議室

出席委員 13名

1番（岡田努）代理、中垣 2番 足立健二 3番 寺澤俊二 4番 鈴木今衛  
6番 小林太朗 7番 佐藤大輔 8番 曾我良久 9番（片田岳史）代理、小木曾  
10番 森岡哲郎 11番 安藤由美子 12番 小掠正明 13番 池戸一正  
16番 安藤善和

欠席委員 3名

5番 伊藤兼正 14番 高橋幸生 15番 藤村聡樹

アドバイザー出席者

岐阜県森林組合連合会 東濃林産物共販所 所長代理 安田博孝  
恵那農林事務所 林業課 課長 田口剛

事務局

恵那市農林部長 平林剛寿 林政課長 安藤学 林政課長補佐 原田宏明  
林政課林業振興係長 佐藤昌宏 林政課 堀仁哉

開会 午後1時30分

## 1. 開会挨拶

委員長 足立健二

## 2. 議題

### ①えなの森林づくり実施計画の変更について

委員長：事務局より説明願います。

事務局：えなの森林づくり実施計画の変更点について、資料1の1ページから8ページを説明。8ページ内の25の項目をこれから取り組んでいく。皆さんの意見をお伺いしたい。

小掠委員：資料13ページの「小水力発電の調査普及」について、「適切な発電ができていない状況」とはどのような理由なのか。

事務局：事前調査の見込みが甘かったことや土砂災害等で適切な水量が確保できなかった。このままでは発電量が足りないため、今年度再調査をして来年度から根本的に見直しをしていく。

安藤委員：資料13ページの「バイオマス導入検討委員会の開催」について、市内で林地残材が足りず、大きな発電施設を建設するのは難しいという検討結

果が出ている。しかし、新たな発電施設が建設されるという情報があり、森林の乱皆伐が心配される。市内の森林を適切に維持・管理していくための、木質バイオマス発電のありかたについてどう考えているか。

事務局：市としても、木質バイオマス発電の中で、柱材等の A 材を燃料にすることは遺憾である。乱皆伐を防ぐために、どのように林地残材を安定して供給していくかを考えていく。

## ②恵那市森林整備計画の変更について

委員長：事務局より説明願います。

事務局：市町村森林整備計画の概要について、資料 2 の 1 ページを説明。

その後、市町村森林整備計画の変更点について、資料 2 の 2 ページから 20 ページを説明。市町村森林整備計画は、地域森林計画に沿って変更。今回は変更箇所のみを抽出しており、すべてを網羅した本文はネット上で閲覧できるようにする。

委員長：何か質問や意見はございますか。

池戸委員：恵那市森林整備計画におけるゾーニング箇所は、恵那市景観計画との整合性が取れているのか。

事務局：整合性は取れていない。基本的に景観計画は、高さ制限や建築物の色が対象となるため、森林の整備には反映されないのではないかと。

池戸委員：景観計画に取り入れている自治会もある。

池戸委員：木質バイオマスについて、事業採算性はどのように検討しているのか。

事務局：搬出ができず切り捨てられたままの木材が多い。その点において木質バイオマスは搬出が可能であれば森林整備につながる。また、皆伐においても、造林をすることにより森林の再生が可能であれば、非常に優れた発電方法である。行政として、「どう搬出するか」という課題を精査していく。

安藤委員：太陽光発電における森林開発について、地主の許可がなくても太陽光発電設置の候補地に登録されていた。森林開発における太陽光発電のあり方を整備していかないといけない。

事務局：現在の法律だと、条件が揃えば、林地開発許可を出さざるを得ない。森林における危険箇所はあるため、国へ改正の要望をしている。

## 3. その他

### ①木造住宅建築補助事業について

事務局より資料 3 に基づき説明

### ②清流の国ぎふ森林・環境税の継続について

事務局より資料 4 に基づき説明

委員長：最後に全体を通して質問等ございますか。

小掠委員：資料 1 の 7 ページの「森林と市民のかかわり方」について提案。

市有林を、森を所有していない個人向けに「市民の森」という形で活用できないか。特に子育て世代にニーズがあるのではないかと。

事務局：安らぎの森やイワクラ公園といった、市民団体が市有林を活用している

実績がある。具体的な案を考えて、改めて相談していただきたい。

4. 閉会挨拶

副委員長 小掠正明

閉会 午後 3 時 00 分